

あわら市公共事業再評価委員会資料

【対象事業】

1. 九頭竜川流域関連あわら市公共下水道事業

- ・ 汚水事業
- ・ 雨水事業

目 次

1. あわら市公共下水道事業概要	1
2. あわら市公共下水道(汚水)年次別整備計画図	2
3. 評価手法選定表およびチェックリスト(汚水)芦原処理区	3~4
4. 評価手法選定表およびチェックリスト(汚水)金津処理区	5~6
5. 代替案による検討	7~10
6. 評価手法選定表およびチェックリスト(雨水)芦原排水区	11~12
7. 評価手法選定表およびチェックリスト(雨水)金津排水区	13~14
8. あわら市公共下水道(雨水)芦原排水区整備計画図	15
9. 芦原排水区氾濫解析結果	16
10. 芦原排水区費用対効果(B/C)	17

あわらし市公共下水道事業概要

下水道事業（污水）について

下水道法事業認可	芦原町 昭和 55 年 2 月
	金津町 昭和 56 年 6 月
全体計画	1,452ha
供用面積（H20 末）	964ha （整備率 71.3%）
行政人口（H20 末）	30,775 人
全体計画区域内の行政人口	29,548 人
処理人口（H20 末）	25,853 人 （下水道普及率 84.0%）
水洗化人口（H20 末）	22,459 人 （水洗化率 86.9%）
污水管認可延長	306,590m
污水管整備延長（H20 末）	241,777m （残延長 64,813m）
全体事業費	340 億円（流域建設負担金を除く）
認可事業費	307 億円（流域建設負担金を除く）
流域建設負担金	34 億円
投資額（H20 末）	240 億円（流域建設負担金を除く）
残事業費	100 億円 実質（H22~）残事業費 50 億円

下水道の排除方式 分流式

残りの区域 芦原処理区

〔波松の一部、十三、城新田、番堂野、富津、浜坂、松影〕

金津処理区

〔滝、牛ノ谷、畝市野々、名泉郷、下金屋、熊坂、笹岡、上野、瓜生、吉崎〕

■公共下水道事業（污水）平成 20 年度末施設概要

・中継ポンプ 4 箇所、マンホールポンプ 53 箇所 残り 18 箇所建設予定

■その他の汚水処理

①農業集落排水事業

処理人口 1,070 人（H20 末）

○青ノ木・宮谷処理区（青ノ木区、宮谷区）

事業対象面積 9.7ha 計画戸数 68 戸 総事業費 379,000 千円

施設概要 処理場 1 棟 マンホールポンプ 1 箇所 管渠延長 2.4 k m

○劔岳処理区（東山区ほか 6 区）

事業対象面積 50.0ha 計画戸数 247 戸 総事業費 1,502,000 千円

施設概要 処理場 1 棟 マンホールポンプ 5 箇所 管渠延長 13.9 k m

②合併浄化槽設置整備事業

処理人口 157 人（H20 末） 45 基

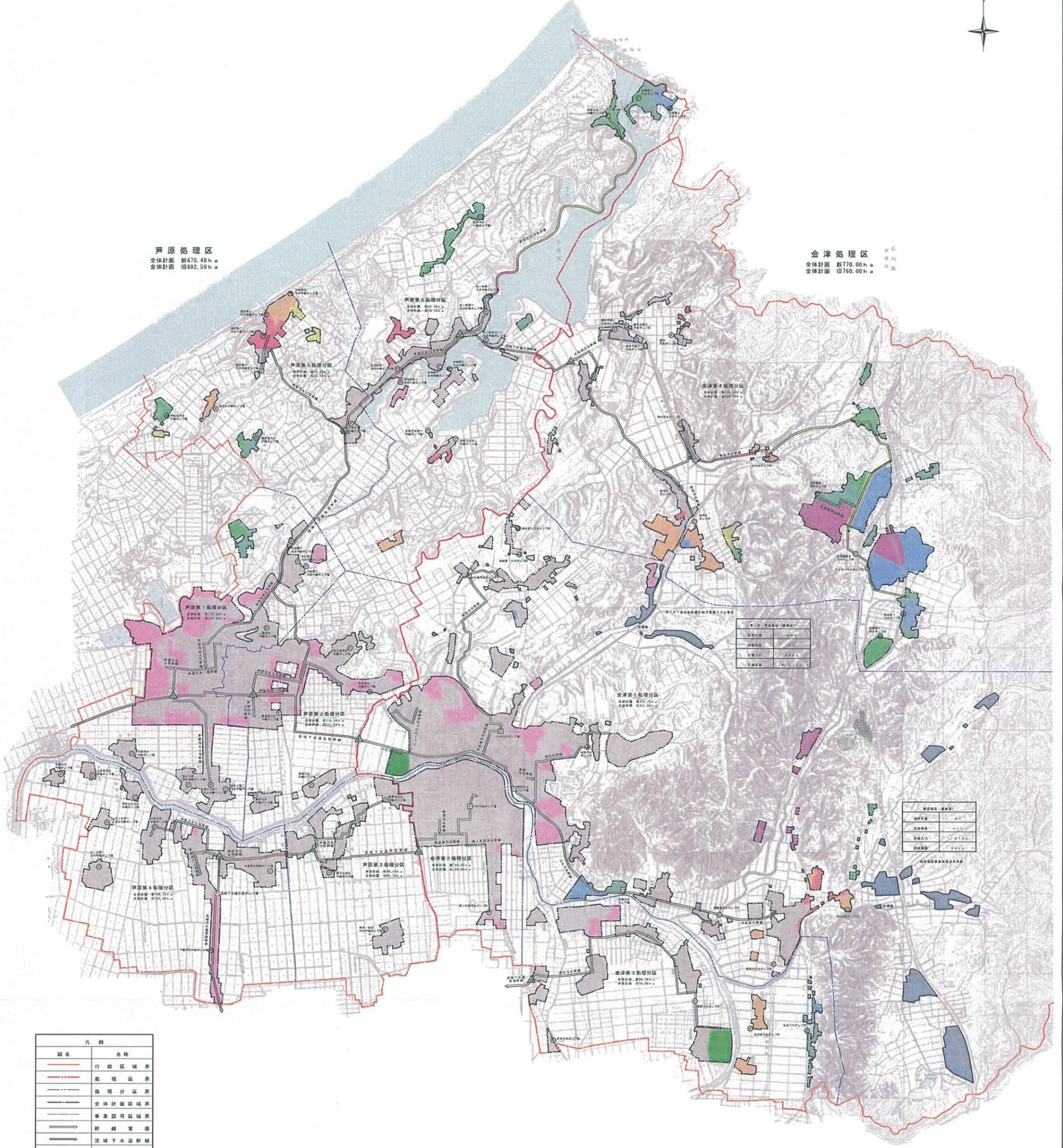
あわらし市年次別整備計画図

汚水 S=1/15,000



戸原処理区
全体計画 新670.40ha
全体計画 旧692.50ha

金津処理区
全体計画 新770.00ha
全体計画 旧760.00ha



管/溝一貫名称(区画別)	
管/溝名称	管/溝番号

処理区(区画別)	
管/溝名称	管/溝番号

凡例	
図名	名称
	行政区境界
	処理区境界
	処理区分区界
	全体計画区境界
	事業認可区境界
	幹線管渠
	流域下水道幹線
	流域下水道接続点
	汚水中継ポンプ場
	マンホールポンプ場
	H19年度以前施工済み
	H20年度施工
	H21年度施工予定
	H22年度施工予定
	H23年度施工予定
	H24年度施工予定
	H25年度施工予定
	H26年度施工予定
	H27年度施工予定
	農業集排水区域
	合併浄化槽設置事業区域

1:15,000

汚水

九頭竜川流域関連 あわらし市公共下水道事業			
図名	年次別整備計画図	設計番号	
縮尺	1:10,000	調整年月日	
設計	水	図番	
	25	番計	

再評価後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	あわらし市	事業種別	流域関連公共下水道(汚水)		処理区	芦原処理区
事業費	当初全体計画40億円 現行全体計画175億円 現行認可計画162億円					
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)	
	処理区域面積	269.0ha	692.5ha	667.0ha	472.8ha	
	処理人口	8,640人	14,300人	13,822人	12,007人	
	計画汚水量	22,115m ³ /日最大	15,746m ³ /日最大	15,154m ³ /日最大	-	
	管渠延長	-	-	135,778m	113,898m	
	ポンプ能力	ポンプ施設はない。				
	処理場処理能力 汚泥処理能力	流域関連公共下水道のため省略。				
再評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	<p>(1)関連計画の状況 下水道の整備は、あわらし市総合振興計画の「優」地球と人と生き物がともに生きる優しさあふれるまちの循環型社会の構築として位置づけられている。</p> <p>(2)関連事業の状況 現在のところ、計画の変更要因となる関連事業はない。</p>					
事業の進捗状況	<p>(1)進捗率 平成20年度末の下水道普及率は92.7%、水洗化率は86.9%である。</p> <p>(2)面整備の進捗状況 平成20年度末の下水道整備率は70.9%である。</p> <p>(3)未整備区域の状況 平成20年度末の未整備地区は概ね波松の一部と城、十三、城新田、番堂野、富津、浜坂、松影である。 残事業費は概ね12億円。</p>					
地元情勢	<p>地元からの要望もあり、住民も事業に協力的な区域もあるが、高齢化のため接続しない世帯も増加し、接続率が伸びない地区もある。 議会については、理解と協力を得ることにより下水道事業に着手しており、現在も協力を得ながら事業を推進している。</p>					
総合評価						
<p>上記3項目に、ついては全ての項目で概ね順調であることが確認されたため、事業評価については「再評価チェックリスト」により行なう。</p>						

再評価チェックリスト

事業主体	あわら市	事業種別	流域関連公共下水道(污水)				処理区	芦原処理区			
事業費	当初全体計画40億円 現行全体計画175億円 現行認可計画162億円										
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)						
	処理区域面積	269.0ha	692.5ha	667.0ha	472.8ha						
	処理人口	8,640人	14,300人	13,822人	12,007人						
	計画汚水量	22,115m ³ /日最大	19,820m ³ /日最大	15,746m ³ /日最大	-						
	管渠延長	-	-	135,778m	113,898m						
	ポンプ能力	ポンプ施設はない。									
	処理場処理能力	流域関連公共下水道のため省略。									
汚泥処理能力											
再評価手法の判定項目											
項目	評 価										
事業費の推移	年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	実施額	5.0	5.9	4.8	4.0	3.0	3.1	3.4	3.0	3.2	2.9
(単位:億円)											
処理場用地の取得状況	流域関連公共下水道のため省略。										
施設の供用状況	計画通り供用している。										
地元情勢の変化の有無	地元からの要望もあり、住民も事業に協力的な区域もあるが、高齢化のため接続しない世帯も増加し、接続率が伸びない地区もある。また、今後整備する区域は遠隔地であり、人口密度が低く、人口も減少していることから、1人あたりの整備費用が高くなっていることから、今後、住民の意向を調査した上、整備する。										
社会経済情勢	経済不況により苦しい財政の中、費用対効果を考慮し、他の污水处理施設との役割分担と、より一層のコスト低減計画を検討する。										
自然環境条件	特に変化はない。										
全体計画の変更	平成16年度に全体計画を変更したが、現在最終的な区域の見直しを行っており、残りの地区については他の污水处理施設との役割分担を費用比較して、その他の観点により再度合理的に検討を行っている。										
総 合 評 価											

再評価後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	あわら市	事業種別	流域関連公共下水道(汚水)		処理区	金津処理区
事業費	当初全体計画65億円 現行全体計画165億円 現行認可計画145億円					
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S56.6.26)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)	
	処理区域面積	276.0ha	760.0ha	685.0ha	491.6ha	
	処理人口	10,700人	16,700人	15,630人	13,846人	
	計画汚水量	12,481m ³ /日最大	10,959m ³ /日最大	10,118m ³ /日最大	-	
	管渠延長	-	-	170,812m	127,879m	
	ポンプ能力	中央汚水ポンプ場	新富汚水ポンプ場	六日汚水ポンプ場	矢地汚水ポンプ場	
		2.6m ³ /分	3.6m ³ /分	1.3m ³ /分	3.5m ³ /分	
処理場処理能力	流域関連公共下水道のため省略。					
再評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	<p>(1)関連計画の状況 下水道の整備は、あわら市総合振興計画の「優」地球と人と生き物がともに生きる優しさあふれるまちの循環型社会の構築として位置づけられている。</p> <p>(2)関連事業の状況 坪江地区については、国道8号線4車線化計画があり、それに合わせて下水道整備を計画した箇所については、国道8号線事業の遅れにより、整備ができない状況にある。</p>					
事業の進捗状況	<p>(1)進捗率 平成20年度末の下水道普及率は77.7%、水洗化率は86.9%である。</p> <p>(2)面整備の進捗状況 平成20年度末の下水道整備率は71.8%である。</p> <p>(3)未整備区域の状況 平成20年度末の未整備地区は概ね中川の一部と次郎丸、北疋田、南疋田、瓜生、上野、沢、滝、牛ノ谷、名泉郷、畝市野々、熊坂、笹岡、吉崎である。 残事業費は概ね38億円。</p>					
地元情勢	<p>地元からの要望もあり、住民も事業に協力的な区域もあるが、高齢化のため接続しない世帯も増加し、接続率が伸びない地区もある。 議会については、理解と協力を得ることにより下水道事業に着手しており、現在も協力を得ながら事業を推進している。</p>					
総合評価						
<p>上記3項目に、ついては全ての項目で概ね順調であることが確認されたため、事業評価については「再評価チェックリスト」により行なう。</p>						

再評価後チェックリスト

事業主体	あわら市	事業種別	流域関連公共下水道(污水)			処理区	金津処理区				
事業費	当初全体計画65億円 現行全体計画165億円 現行認可計画145億円										
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S56.6.26)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)						
	処理区域面積	276.0ha	760.0ha	685.0ha	491.6ha						
	処理人口	10,700人	16,700人	15,630人	13,846人						
	計画汚水量	12,481m ³ /日最大	10,959m ³ /日最大	10,118m ³ /日最大	-						
	管渠延長	-	-	170,812m	127,879m						
	ポンプ能力	中央污水ポンプ場	新富污水ポンプ場	六日污水ポンプ場	矢地污水ポンプ場						
		2.6m ³ /分	3.6m ³ /分	1.3m ³ /分	3.5m ³ /分						
処理場処理能力	流域関連公共下水道のため省略。										
再評価手法の判定項目											
項目	評価										
事業費の推移	年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	実施額	3.4	3.5	2.9	3.1	2.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.0
(単位:億円)											
処理場用地の取得状況	流域関連公共下水道のため省略。										
施設の供用状況	計画通り供用している。										
地元情勢の変化の有無	地元からの要望もあり、住民も事業に協力的な区域もあるが、高齢化のため接続しない世帯も増加し、接続率が伸びない地区もある。また、今後整備する区域は遠隔地であり、人口密度が低く、人口も減少していることから、1人あたりの整備費用が高くなっていることから、今後、住民の意向を調査した上、整備する。										
社会経済情勢	経済不況により苦しい財政の中、費用対効果を考慮し、他の污水处理施設との役割分担と、より一層のコスト低減計画を検討する。										
自然環境条件	特に変化はない。										
全体計画の変更	平成16年度に全体計画を変更したが、現在最終的な区域の見直しを行っており、残りの地区については他の污水处理施設との役割分担を費用比較して、その他の観点により再度合理的に検討を行っている。 現在、合併と国道バイパスの見直しにより、区域と幹線管路の見直しも行っている。 また、将来的(平成28年ごろ)には農業集落排水事業の区域も公共下水道に取り込む計画である。										
総合評価											

要検討地区一覧

市町村	処理区名	地区名	個別処理	決定方針				備考
				下水道	浄化槽	その他	再検討	
あわら市	芦原処理区	吉崎・浜坂		1				施工中
		芦原ヨリフクラブ					1	下水道区域から削除の予定。
		富津					1	コスト低減方策により浄化槽との比較は同等であり、放流先が閉鎖性水域でもあることから下水道区域とする。
		城新田・十三・城					1	施工中
		番堂野					1	浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		松影		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		国葎(メロン苑)					1	施工中
		北潟(ひばりヶ丘)					1	下水道区域から削除の予定。
		松影(社田造園)					1	下水道区域から削除の予定。
		牛山(安養院)					1	下水道区域から削除の予定。
		北潟(サイクルングパーク)					1	下水道区域から削除の予定。
		北潟(青年の家)					1	意向を調査した上整備する。
		北潟(福井工大)		1				意向を調査した上整備する。
		横垣(アグリ伸輝)					1	下水道区域から削除の予定。
		下番(県道福井加賀線)		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
	金津処理区	南足田・次郎丸・北足田					1	施工中
		瓜生		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		滝		1				施工中
		熊坂・下金屋		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		名泉郷					1	浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		畝市野々		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		牛ノ谷・沢		1				施工中
		牛ノ谷(国道東)					1	下水道区域から削除の予定。
		牛ノ谷(駅前)		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		笹岡(上流)(下流)		1				国道8号線バイパス計画により整備は未定。
		笹岡(YONETSU)		1				国道8号線バイパス計画により整備は未定。
		笹岡(上流)国道東					1	下水道区域から削除の予定。
		中川(柿木石油店)					1	下水道区域から削除の予定。
		中川(松竜団地)		1				施工中
		上野		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。
		高塚(日の出横)					1	下水道区域から削除の予定。
		高塚(青ノ木工場)					1	意向を調査した上整備する。
		矢地(東)		1				意向を調査した上整備する。
矢地(工業団地)					1	意向を調査した上整備する。		
東田中(南側工場)					1	意向を調査した上整備する。		
嫁威(金津繊維)					1	意向を調査した上整備する。		
清王(さくらセンター)		1				意向を調査した上整備する。		
千束(赤尾側)		1				浄化槽との比較は同等であるため、住民の意向を調査した上整備する。		
坂口(県道沿い)					1	下水道区域から削除の予定。		
合併処理浄化槽	滝団地	1	1				個別処理から集合処理へ移行	
合併処理浄化槽	青ノ木団地	1	1				個別処理から集合処理へ移行	
農業集落排水事業	鷺岳地区		1				農業から公共へ移行(H28ごろ)	
農業集落排水事業	青ノ木・宮谷		1				農業から公共へ移行(H28ごろ)	
	家屋間限界距離					1		
合計			2	21	0	0	23	

要検討地区点検表

都道府県名		福井県			
市町村名		あわら市			
事業種別※1		流域関連公共下水道			
処理区名※2		芦原第6処理分区			
地区名		吉崎・浜坂			
面積(ha)		23.07			
世帯数(戸)		318			
人口(人)		475			
建設事業費 (万円/年)	下水道	管種・管径	自然流下	圧送	マンホールポンプ
		延長	5,430	3,990	3
		単価(万円/m)	7.1	4.5	1,833
		計(万円)	62,007.0		
	管渠	951.5			
	処理場	53.6			
	計	1,005.1			
合併処理浄化槽		1,254.9			
(維持管理費 万円/年)	下水道	管渠	225.4		
		処理場	477.5		
		計	702.9		
合併処理浄化槽		2,575.8			
合計 (万円/年)	下水道	1,708.0			
	合併処理浄化槽	3,830.7			
今後の方針	・点検結果に基づき、既計画通り下水道による処理を行う。				

要検討地区点検表

都道府県名		福井県			
市町村名		あわら市			
事業種別※1		流域関連公共下水道			
処理区名※2		金津第4処理分区			
地区名		名泉郷			
面積(ha)		49.03			
世帯数(戸)		219			
人口(人)		625			
建設事業費 (万円/年)	下水道	管種・管径	自然流下	圧送	マンホールポンプ ^o
		延長	13,291	883	2
		単価(万円/m)	7.5	4.1	1,500
		計(万円)	106,302.8		
	管渠	1,525.7			
	処理場	114.0			
	計	1,639.7			
	合併処理浄化槽	$(219 \times 102.6 + 0.0) \div 26$		864.2	
(維持管理費 万円/年)	下水道	管渠	213.4		
		処理場	1,014.9		
		計	1,228.3		
	合併処理浄化槽	$219 \times 8.1 + 0.0$		1,773.9	
合計 (万円/年)	下水道	2,868.0			
	合併処理浄化槽	2,638.1			
今後の方針	・今後の方針を関係部局等と調整し、結論が出るまでは下水道整備を行わない。				

家屋間限界距離算出根拠

$$\begin{aligned} \text{家屋間限界距離(開削)} : L & (6.6/72+0.008) \times L = 3.9+8.1-2.1 \\ & L = 9.9/0.1 \\ & L = 99\text{m} \end{aligned}$$

$$\text{合併浄化槽(7人槽)建設費} \quad 102.6/26 = 3.9 \text{ (万円/年)}$$

$$\text{合併浄化槽(7人槽)維持管理費} \quad 8.1 \text{ (万円/年)}$$

$$\text{処理場維持管理費} \quad 2.1 \text{ (万円/年)}$$

$$\text{管渠建設費} \quad 6.6(7.5)/72 \times L$$

$$\text{管渠維持管理費} \quad 0.008 \times L$$

※出典：日本下水道協会「都道府県構想マニュアル(案)」

再評価後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	あわら市	事業種別	公共下水道(雨水)			処理区	芦原排水区
事業費	当初全体計画17億円 現行全体計画30億円 現行認可計画11億円						
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)		
	排水区域面積	277.0ha	491.9ha	176.0ha	105.0ha		
	確率年	5年	5年	5年	-		
	管渠延長	-	36,080m	34,037m	25,937m		
	ポンプ能力	ポンプ場の計画なし。					
再評価手法の判定項目							
項目	評価						
関連計画及び関連事業の状況	<p>(1)関連計画の状況 下水道の整備は、あわら市総合振興計画の「優」地球と人と生き物がともに生きる優しさあふれるまちの循環型社会の構築として位置づけられている。</p> <p>(2)関連事業の状況 都市排水路の雨水は芦原土地改良区の幹線排水路、ポンプ場を経て竹田川に放流している。その幹線排水路、ポンプ場の能力は不足しており、雨水は農地に湛水している状況である。今後、雨水整備を推進するには、農地の湛水問題をどのように解決していくかがポイントとなる。</p>						
事業の進捗状況	<p>(1)面整備の進捗状況 平成20年度末の整備率は59.7%である。</p> <p>(2)未整備の状況 雨水管路の未改修延長は8,100mであり、湯のまち公民館付近に調整池を計画している。</p>						
地元情勢	<p>芦原排水区については、台風や集中豪雨による温泉街の浸水被害が報告されており、地元からの要望も強く浸水対策が急務となっております。現在、温泉街については汚水整備は完成しているが、雨水整備は未整備となっており、今後整備を推進するに当たっては、下水管を含めた道路埋設物の移設や、工事による交通障害、温泉旅館などの営業への影響が懸念されます。</p>						
総合評価							
<p>上記3項目に、については全ての項目で概ね順調であることが確認されたため、事業評価については「再評価チェックリスト」により行なう。</p>							

再評価後チェックリスト

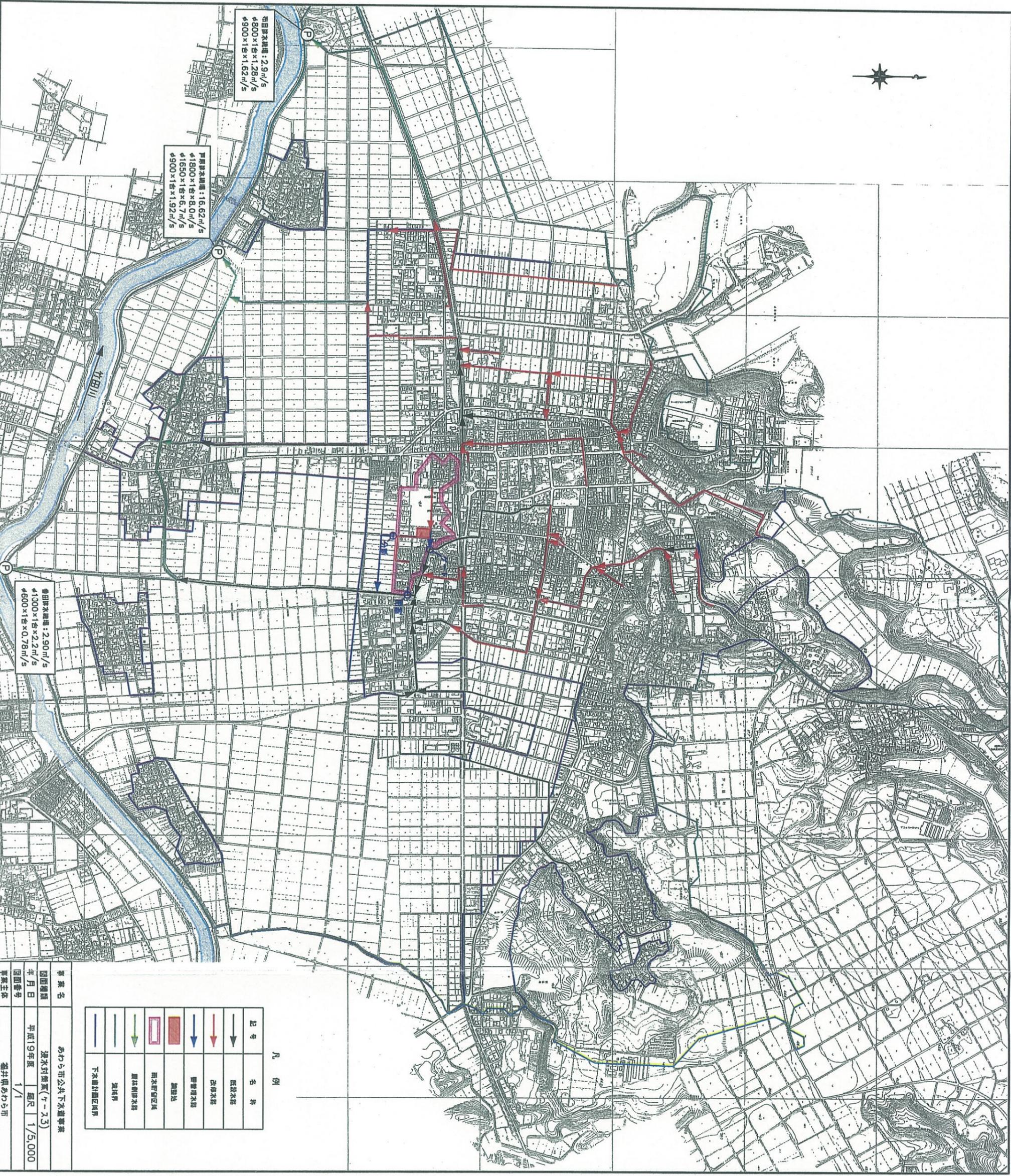
事業主体	あわら市	事業種別	公共下水道(雨水)					処理区	芦原排水区		
事業費	当初全体計画17億円 現行全体計画30億円 現行認可計画11億円										
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)						
	排水区域面積	277.0ha	491.9ha	176.0ha	105.0ha						
	確率年	5年	5年	5年	-						
	管渠延長	-	36,080m	34,037m	25,937m						
	ポンプ能力	ポンプ場の計画なし。									
再評価手法の判定項目											
項目	評 価										
事業費の推移	年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	実施額	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	0.1	0.1	0.6	0.1	0.1
(単位:億円)											
ポンプ場用地の取得状況	ポンプ場用地取得の計画なし。										
施設の供用状況	計画通り供用している。										
地元情勢の変化の有無	最近、全国的に局地的集中豪雨が多発しており、浸水被害の多い地域の住民は不安を抱いている。										
社会経済情勢	経済不況により、税収が落ち込んでいる状況の中、費用対効果を考慮し、より安価で実現性のある整備計画を検討する。										
自然環境条件	特に変化はない。										
全体計画の変更	平成16年度に全体計画を変更したが、都市排水路の雨水は芦原土地改良区の幹線排水路、ポンプ場を経て竹田川に放流している。その幹線排水路、ポンプ場の能力は不足しており、雨水は農地に湛水している状況である。雨水整備を推進するには、農地の湛水をどのように解決していくかが問題となるため、現在、土地改良区と協議中であり、今後、整備計画の見直しにより事業費が膨らむ可能性もある。										
総 合 評 価											

再評価後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	あわら市	事業種別	公共下水道(雨水)		処理区	金津排水区
事業費	当初全体計画35億円 現行全体計画35億円 現行認可計画25億円					
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)	
	排水区域面積	580.0ha	580.0ha	425.0ha	26.7ha	
	確率年	5年	5年	5年	-	
	管渠延長	-	36,080m	68,030m	3,900m	
	ポンプ能力	新富雨水ポンプ場	古汚水ポンプ場			
145.1m ³ /分		596.9m ³ /分				
再評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	<p>(1)関連計画の状況 下水道の整備は、あわら市総合振興計画の「優」地球と人と生き物がともに生きる優しさあふれるまちの循環型社会の構築として位置づけられている。</p> <p>(2)関連事業の状況 現在のところ、計画の変更要因となる関連事業はない。</p>					
事業の進捗状況	<p>(1)面整備の進捗状況 平成20年度末の整備率は6.3%である。</p> <p>(2)未整備の状況 雨水管路の未改修延長は64,130mである。 ポンプ場については、用地は確保してあるが、建設は未整備。</p>					
地元情勢	<p>金津排水区については、市街地の幹線排水路は、ほぼ完成しているところから、最近、浸水被害が報告されてなく、地元からの要望もありません。</p>					
総合評価						
<p>上記3項目に、ついては全ての項目で順調であることが確認されたため、事業評価については「再評価チェックリスト」により行なう。</p>						

再評価後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	あわら市	事業種別	公共下水道(雨水)				処理区	金津排水区			
事業費	当初全体計画35億円 現行全体計画35億円 現行認可計画25億円										
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (S55.2.19)	現行全体計画 (H16.3.30)	現行認可計画 (H16.3.30)	整備状況 (H20年度末)						
	排水区域面積	580.0ha	580.0ha	425.0ha	26.7ha						
	確率年	5年	5年	5年	-						
	管渠延長	-	36,080m	68,030m	3,900m						
	ポンプ能力	新富雨水ポンプ場 145.1m ³ /分	古汚水ポンプ場 596.9m ³ /分								
再評価手法の判定項目											
項目	評価										
事業費の推移	年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	実施額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0
(単位:億円)											
ポンプ場用地の取得状況	ポンプ場用地取得済。										
施設の供用状況	計画通り供用している。										
地元情勢の変化の有無	最近、全国的に局地的集中豪雨が多発しており、過去に浸水被害にあった地域の住民は不安を抱いている。										
社会経済情勢	経済不況により、税収が落ち込んでいる状況の中、費用対効果を考慮し、より安価で実現性のある整備計画を検討する。										
自然環境条件	特に変化はない。										
全体計画の変更	平成16年度に全体計画を変更しており、現状はこの変更計画により推移している。ポンプ場については、用地は確保してあるが、建設に関しては竹田川の浚渫、龍ヶ鼻ダムの完成以来、目立った被害がなく、現状では必要に迫られていない。多額の費用をかけて建設するには費用対効果の面で問題がある。また、支線排水路についてはほとんど未整備となっていますが、既存の排水路の排水能力はほとんど確保されているため、今後の整備については、状況の変化により支障をきたした時点で整備を行いたいと考えている。										
総合評価											

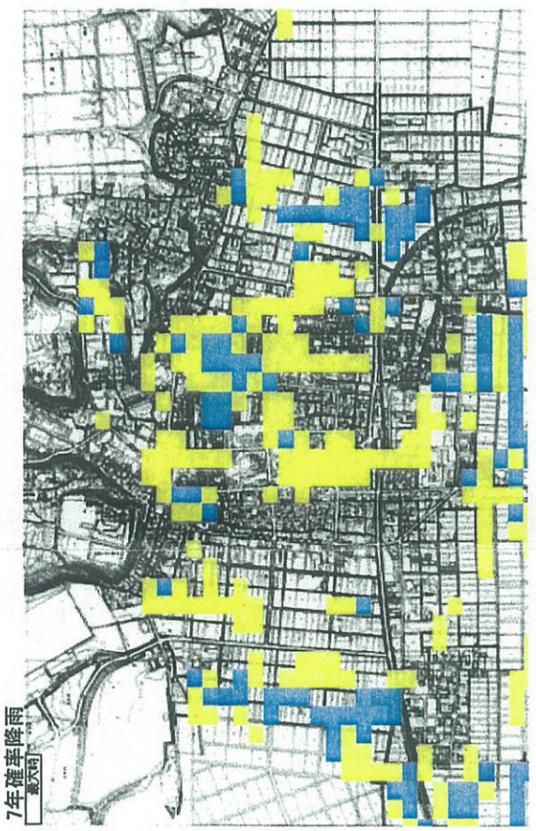
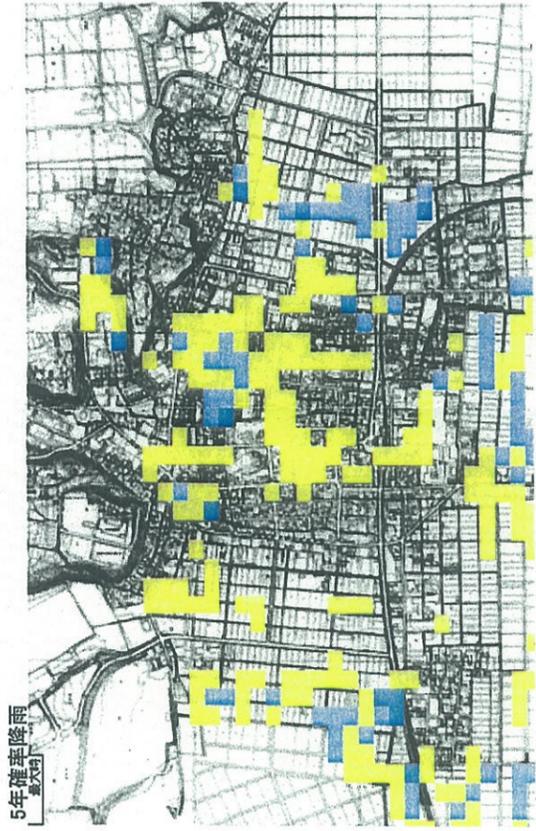
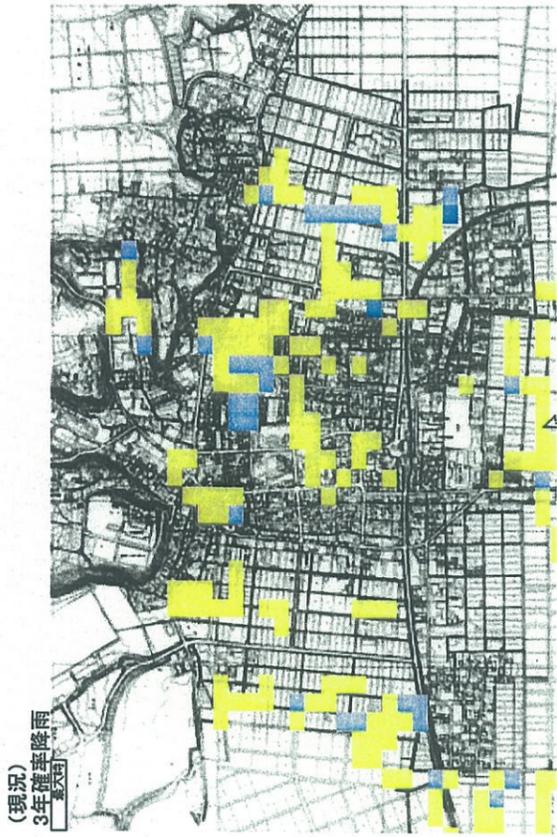


凡例

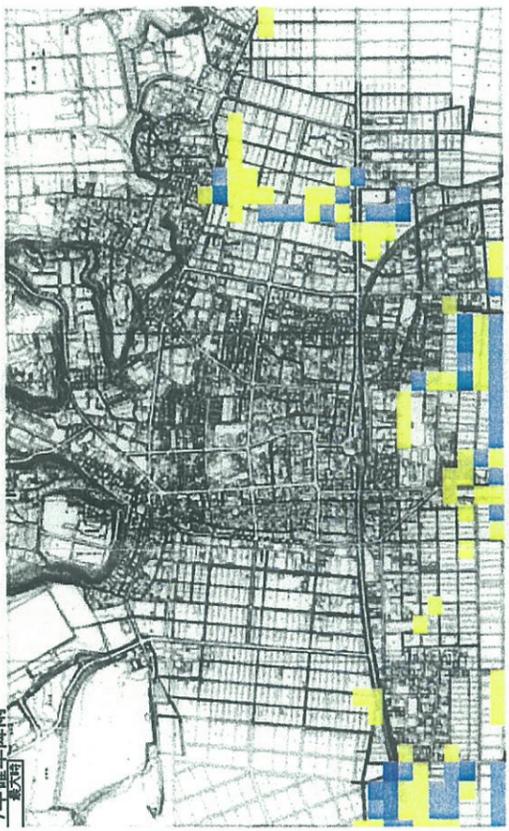
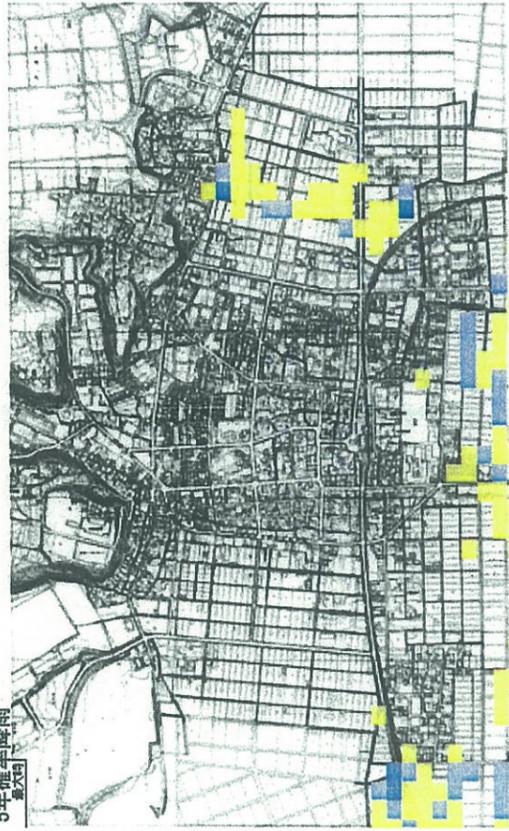
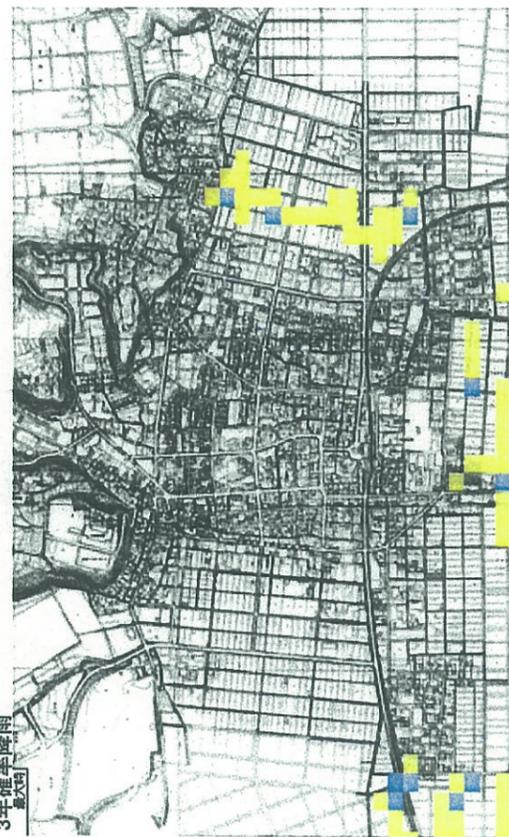
記号	名称
→	既設水路
→	改修水路
→	新設水路
■	埋設地
■	雨水貯留区域
→	埋設排水路
→	埋設路
→	下水道計画区域界線

事業名	あわら市公共下水道事業
図面種類	埋設排水路(4-1-3)
年月日	平成19年度
図面番号	1/1
縮尺	1/5,000
製図者	福井県あわら市

■ 地表面氾濫解析結果(3・5・7年確率降雨)



計画第1期:ケース2(市街地雨水管渠整備)



計画第2期:ケース3(雨水貯留施設整備)

